

コラボ産学官埼玉支部だより

Vol. 7

発行 コラボ産学官 埼玉支部

事務局長 井草 宣義

平成19年10月1日

『産学交流セミナーin 埼玉工業大学』を実施いたしました！

去る7月26日、埼玉工業大学で『産学交流セミナーin 埼玉工業大学』を開催いたしました。

県北の企業の方々を中心に約70名の方々が参加され、三班に分けられた各グループ毎に『ハイテク・リサーチ・センター』を見学しました。



【同センター内の研究室で機器の説明を受ける参加者】

このセンターは3階建てで、各階に研究装置・設備が設置されています。中には億円台の装置もあり、参加者は普段なかなかお目にかかれない機器の説明に皆様真剣に耳を傾けていました。

なお、センターの研究装置は有料となりますが、外部の方にも開放されております。装置詳細は次のURLをご覧ください、使用希望の方は下記宛

必ずお問合せください。

URL : <http://www.sit.ac.jp/sentan/sentan1.html>

TEL : 048-585-6895 埼玉工大研究協力課



【ご挨拶をされる永野三郎学長】

約1時間の見学の後、正智塔4階大会議室に再集合いただきセミナーが開催されました。

開講に先立ち、長野三郎学長よりご挨拶があり、その後、矢島龍彦教授から、同大学における産学連携に対する取組み状況などのお話を頂き、セミナーは終了しました。

交流懇親会には、先端科学研究所長・手塚還教授他数人の先生の皆様にもご参加いただき、参加者の方々と活発に意見交換がなされました。

産学官イベント情報

1 19年10月17日(水)

「技術課題相談会 in 熊谷地区」開催のお知らせ
埼玉県技術士会に加盟している技術士の方々の協力をいただき、熊谷地区の当支部会員ならびに熊谷市内製造業の皆様のご相談に応じます。
なお、経営相談・労務相談には応じかねますことをご了承ください。

- ・時間：9:30～17:00
- ・会場：埼玉県信用金庫 本店営業部4階会議室
熊谷市本町1-130-1 TEL：048-523-2101
- ・費用：今回の相談については無料です。
- ・問合せ先：当支部 TEL：048-526-6887

2 19年10月下旬

「産学交流セミナーin 東京電機大学」開催の予告
東京電機大学鳩山キャンパスで標記セミナーを開催する予定です。

※詳細が決まり次第支部ホームページに掲載いたします。

3 19年10月31日(水)

「ものづくりの基盤となるナノ精度加工分野」セミナー開催のお知らせ

県内に数多く存在する自動車・機械・航空・光学関連等の製造業では、寸法や表面性状にナノレベルの精度を要求されています。

本セミナーでは、ナノレベルの加工技術について、県内公的研究機関の方や工科系大学の先生方よりお話をいただきます。

- ・時間：14:00～17:30
- ・会場：新都心ビジネス交流プラザ4階会議室
さいたま市中央区上落合2-3-2
JR北与野駅前、JRさいたま新都心駅より徒歩7分
- ・費用：無料（交流会参加の方は1千円の会費要）

※詳細は当支部ホームページをご覧ください。

4 19年11月2日(金)

「産学交流セミナーin 埼玉大学工学部」開催の予告

国立大学法人埼玉大学工学部で標記セミナーを開催する予定です。

※詳細が決まり次第支部ホームページに掲載いたします。

お知らせ

- 1 去る8月21日、ものづくり大学・学長で当支部・理事の野村東太氏が逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- 2 去る9月12～14日に東京国際フォーラムで「イノベーションジャパン・2007」が開催されましたが、9月13日開催協賛セミナー『「コラボ産学官」&「虚擬大学」』のパネルディスカッションには、当支部井草事務局長がパネラーとして出席しました。



【右側より群馬大・鈴木学長、井草事務局長、加藤社長】



【右側より深港産学研基地副主任・張氏、同産業発展部長・馬氏、深圳虚擬大学園管理センター副主任・王氏】

◆経済産業省委託：『メカトロニクス・ロボット分野における「新・潰しの利く人材育成」』のご紹介◆

様々な製品分野で高付加価値化のために、急速に導入されているメカトロニクス・ロボット技術に関する人材育成は、日本の産業競争力向上に大いに寄与するものと期待されています。

地域の中堅・中小製造業の経営者に対する人材育成需要の聞き取り調査では、ものづくりへの熱い思いと共に、次代を担う社員に複数分野の技術知識を身につけてもらう機会を模索する声が多く寄せられました。

上記事情を踏まえ、(社)日本機械学会は国の産学連携製造中核人材育成事業を受託し、本人材育成事業を『メカトロニクス・ロボット分野における「新・潰しの利く人材育成」』と命名しました。

さらに同学会より本事業を下記5大学が再受託し、今年度からそれぞれの地域の産業特性を踏まえた人材育成に本格的に取り組み始めました。

茨城大学 茨城地域で、システム視点からパーツを作れる人材育成

群馬大学 群馬地域で、バランスの取れたシステム構築が出来る人材育成

東洋大学 埼玉地域で、問題解決型人材育成

名城大学 東海地域で、ロボットを一人で作れる人材育成

九州工業大学 製造ライン構築のスーパーエキスパート育成

東洋大学



平成18年度実習風景より

東洋大学では、同大学工学部の教授陣を始め、埼玉県産業技術総合センターの研究者、協力企業技術者を講師とし、無料で各講座を開講しております。

製造業の会員の皆様、是非とも貴社社員の受講派遣をご検討ください！！

10月以降確定済み開講講座のご紹介

●開講日時：10月6、13、20、27日 9:00～15:00

講座名：ものづくりリーダー育成

場所：東洋大学(川越)

定員：10名

●開講日時：11月9、13、16、27日

講座名：産業用ロボットの機能と制御

場所：東洋大学(川越)

定員：5名

●開講日時：12月12、13日 時間未定

講座名：空気圧縮技術

場所：SMC 東京営業所研修室(秋葉原駅前)

定員：10名

●開講日時：2007年2月19、20日 9:00～17:30

講座名：プロジェクトマネジメント

場所：東洋大学(川越)

定員：10名

■申込先：東洋大学 RAM 教育センター

TEL/FAX:049-239-1646

E-mail: tram@eng.toyo.ac.jp

※予定は変更になることもありますが、当支部ホームページでは、各月開催講座の詳細を掲載いたしますので必ずご確認ください。

コラボ産学官埼玉支部 役員のご紹介

会社名 株式会社富士精工
代表者 下司 泰史
所在地 ふじみ野市鶴ヶ舞3-4-5
連絡担当者 青木 省吾
TEL 049-262-5777
FAX 049-266-3098
E-mail fuji5777@aol.com
事業内容 電気計測器製造業
共同研究機関



〈下司社長〉

研究名称：特殊紫外線照射光ファイバによる歪計測手法の検討
山形大学大学院理工学研究科：広瀬研究室

研究目的

本共同研究は、広瀬研究室が考案した特殊な紫外線照射被覆光ファイバに、曲げや側圧を与えることで損失変化を発生させます。この技術を、光ファイバによる各種センシングへの実用化検討を行うものです。

コラボ産学官埼玉支部へ一言

今回は、以前からの縁で山形大学との共同研究を行い、光ファイバセンサの製品化を行いました。当社では、さらに多角的な事業展開を試行しており、コラボ産学官埼玉支部のご指導を得ながら、次の共同研究は是非とも地元埼玉の大学と連携したいと考えています。

●平成19年度「コラボ産学官埼玉支部」役員

役職名	氏名	所属部署と役職名	役職名	氏名	所属部署と役職名
支部長	安田 裕信	埼玉縣信用金庫・理事長	理 事	後藤 慎一	後藤精工㈱ 代表取締役
副支部長	石井 長一	財)中小企業振興公社・専務理事	理 事	小山 景市	㈱小山本家酒造 代表取締役社長
副支部長	篠原 光行	埼玉縣信用金庫・常務理事	理 事	山崎 嘉正	㈱筆屋 代表取締役
理 事	永野 三郎	埼玉工業大学・学長	理 事	津田 健三	津田工業㈱ 代表取締役
理 事	井浦 雅司	東京電機大学・理工学部長	理 事	朱田 徹之	松下光学㈱ 代表取締役
理 事	瀬尾 巖	東京理科大学・科学技術交流センター長	理 事	白石 忠信	㈱スリーストン 専務取締役
理 事	坂本 信義	東洋大学・工業技術研究所長	理 事	飯山 正樹	㈱飯山製作所代表取締役
理 事	松倉 宏一	日本工業大学・コーディネータ	理 事	下司 泰史	㈱富士精工 代表取締役
理 事	野村 東太	ものづくり大学・学長	監 事	藤間 恵一	㈱オキナヤ 代表取締役社長
理 事	高村 弘毅	立正大学・学長	監 事	梅沢 和義	埼玉縣信用金庫 営業統括部長
理 事	須田 彬	埼玉県中小企業団体中央会・専務理事			※敬称略

【お知らせ】

株式会社富士精工・下司社長様の紹介をもちまして、上表「一般会員兼当支部役員」の紹介を終了させていただきます。次の「コラボだより Vol.8」からは「会員さん、いらっしゃい！」コーナーを設け、一般会員の皆様より自社アピール原稿を募集し、原則毎号2社ずつご紹介させていただきます。

第1号として会員番号62・株式会社ダイイチ様を掲載させていただきましたので、参考にしてください。応募される方は「A4サイズ・Word」形式で原稿を作成の上、当支部宛メールでお送りください。写真入り大歓迎です。なお、応募原稿は支部事務局が内容をチェック・編集し、掲載につきましては到着順とさせていただきますことをご了承ください。

コラボ産学官埼玉支部 ⇒ E-mail: info@collabosgk-saitama.com

会員さん、いらっしやい!

会員ナンバー：62

会社名：株式会社ダイイチ

代表者：清水 健二

所在地：東松山市下野本下原 1283-16

TEL：0493-23-7391 FAX：0493-23-7392

URL：<http://dai-ichi.biz>

E-mail：daiichibiz@yahoo.co.jp

業務内容：

家畜糞尿の減容、再利用を目的とする炭化装置の開発(埼玉県畜産試験場と共同による)、電気式土壌消毒機開発・製造販売



《清水社長》

ちよつとPR...

弊社は設立以来15年、主に環境問題をテーマにした各種機器の開発を進めてきましたが、昨今社会問題となっている飲酒運転による痛ましい事故を何とか減らしたい考え、飲酒運転予防・防止につながる製品の開発を進めることにしました。

様々なアイデアが浮かびましたが、「運転する方の心に訴え、自制してもらおう」のが最善の策と考えました。そこでアルコールを提供する飲食店業界に目をつけ、飲酒運転予防・防止をお客様に訴え続けてもらう方法を考案しました。それが左写真の『おしゃべりキュービット』(実案取得済み)です。

『おしゃべりキュービット』は、飲食店内のトイレに設置され、内蔵された人感センサーが人を感知し、下記音声メッセージを流す仕組みになっています。また同じ人が何回もメッセージを聞き不快にならぬよう、同一者を再感知しない制御がされています。

《メッセージ内容例》

東松山市飲食店組合加盟店をご利用頂きありがとうございます。今日も楽しくお酒を飲んでいますか?でもお酒の後は運転をしないで下さいね。あなたの大切な人の心からの願いです。お帰りの際は、親切モットーの〇〇代行社を是非ご利用くださいませ。

軽音楽に乗せて優しく語り掛けることで、常に飲酒・酒気帯び運転の予防・防止の意識を持ち続けて頂ければと考えております。

このたび全国飲食業生活衛生同業組合連合会(全飲連:組合員数約10万人)が本装置を全国的に販売することが決定し、現在各地で説明会が開催されています。

また、地元東松山市商工会様より「是非、経営革新計画の承認を取るべきである」とのご助言、ご指導を賜り、平成19年8月17日付にて埼玉県より承認(西産労第256号)頂きました。県の素早い対応と、商工会をはじめ多くの皆様のご尽力に心から感謝しております。

終わりに、「企業は人であり 社会貢献無くして企業は成り立たず」という多くの方々の教えを守り、今後とも社員と力を合わせ社会貢献できる製品開発に努力して参ります。



一飲酒運転啓発装置一
おしゃべりキュービット

産学官連携キーワードVol.6

コアコンピタンス…企業の強みである能力、ノウハウ、企業力のこと。製品などの「モノ」は含まない。大学発ベンチャーにおける「コアコンピタンス」は最先端技術であるが、製品の販売力は弱い場合がある。

コンソーシアム【Consortium】…一般に、協会、組合(研究組合)を意味する。コンソーシアムにおける産学共同研究は以前から実施されており、民間企業が研究資金をそれぞれ支出し、研究体制を構築する。コンピューターの基本ソフト「TORON」などはコンソーシアム体制によって、さまざまな産業分野への応用が成功した例である。研究者にとっては長期的な研究計画を立てられるメリットがあり、また民間企業にとっては研究リスクの軽減につながる。

ロイヤルティ/ロイヤリティー【Royalty】…ライセンスによる特許の実施承諾に対して支払う対価、報酬、特許権料のこと。従来、大学の研究者の研究成果は、研究者と密接な関係にある一部の企業などに譲渡・特許取得され、研究者に還元される対価は謝礼金のみであるなど、特許の取扱いが適正とはいえなかった。現在 TL0 を経由して技術移転を行い、「ロイヤルティ」が研究者に還元され、新たな研究開発に結びつく、好循環が生まれる可能性がでてきた。

—JIPM ソリューション発行図書:スタート!「産学連携」より

編集後記

当支部の会員数も、スタート時(18年3月末)の326先から508先(19年9月末現在)と、182先の増加となり、これからも毎月増加していく見込みです。

「産学官連携活動」も全国的に年々盛んとなり、当支部も県内大学・研究機関との「産学連携セミナー&施設見学会」や「出張技術相談会」、および「各種講演会」を盛り込んだ「年間事業計画」に基づき活発に活動を展開しております。

しかし、残念ながら“会員企業のご参加が今一步”というのが現状であります。

この原因は、まだまだ『「産学連携」は難しいもの、多額のお金がかかるもので遠い存在』と考えている方が多い為と思われますが、決してそのようなことはありません。

昨今、大学の敷居も大変低くなりましたので、「技術・経営課題」について社長さんが一人で悩むより「大学の知恵と技」を積極的に導入して技術革新(イノベーション)を図り、自社の持続的発展を築き、目覚ましい時代の変化に対応されますことをご期待申し上げます。

コラボ産学官事務局長 井草 記

コラボ産学官埼玉支部

360-8611 埼玉県熊谷市久下4丁目141番地 (埼玉縣信用金庫法人事業部内)

TEL: 048-526-6887 FAX: 048-599-1044

E-mail: info@collabosgk-saitama.com

URL: <http://www.collabosgk-saitama.com/>